



北陽同窓

会報・第16号

1995年10月1日

発行 北陽高等学校同窓会

編集 同窓会広報委員会

印刷 関西廣濟堂

創立70周年記念特集



も

く

じ

三木同窓会長、林校長挨拶……………	2
70周年記念事業に積極参加を 栗田副会長……………	3
母校70周年随想……………	4
……………	5
……………	6
……………	7
……………	8
恩師文芸サロン……………	9
楽しい同窓の集い……………	10
平成7年母校進路状況……………	11

母校クラブ活動状況・校歌……………	12
同窓会事務局だより・教職員動静……………	13
協賛広告……………	
同窓の訃報・追悼記……………	14
会報15号に寄付頂いた同窓各氏……………	15
同窓会役員名簿・編集後記・協賛広告……………	16
協賛広告……………	17
……………	18
……………	19
……………	20

母校創立 70周年を迎えて

会長 三木 憲三
(昭和23年卒)



同窓諸賢にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶びいたします。平素は同窓会の運営と発展にご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

21世紀の新しい息吹が感じられる1995年、我等が母校北陽は創立70周年という記念すべき年を迎えました。誠に喜びにたえないところであります。

さて、このたびの会報発行にあたって、その足どりを辿ってみました。今は亡き稲野会長時代の1980年(昭和55年)に藤井前会長(当時副会長)が中心になられ創刊号「北陽同窓」が発刊されております。今日迄の15年の歳月を経て関係各位の並々なご努力で苦労を克服されて毎年欠けることなく続けてこれたことに心より敬意を表するものであります。これら先人の足跡を礎として会報第16号が70周年記念特集号として刊行できましたことに大変な喜びを感じております。又このたびは特集号と云うことから各層各界遠隔各地等からも多くの草稿が寄せられましたのでページ数も増やし内容豊富な会報を作ることができました。多くの同窓のご協力に対して厚く御礼を申し上げます。

又同窓会ではこの会報と同時に記念事業として次の事項を行うことを決めています。(1)同窓会名簿の発行 (2)母校70周年記念大会開催 (3)記念事業協力募金等であります。(1)につきましては名簿精度のより向上を計るため綿密な打ち合せの上名簿制作者である関西広済堂に委託しました、すでに皆様方に連絡が届いていると思いますが、ご協力下さる様に宜敷くお願い申し上げます。(2)この70周年記念大会は別記の通り開催いたしますが、これは同窓会が全卒業生(連絡可能者約1万5千名)を対象に行う初めてのイベントであります。奮ってご来会下さる様お待ち申し上げます。(3)につきまして別途趣意書をご拝読の上ご理解を賜りご支援下さる様何卒宜敷くお願い申し上げます。

この創立70周年に際し改めて母校を顧みるとき大正、昭和、平成と各時代の波を乗り越え軌跡を残してきた北陽から2万6千名の多くの卒業生が巣立ち、これらの人達が各地で色々な分野で活躍されていますが、今、母校の大きな節目を契機にこれら同じ学窓で学んだ者が交流し、母校と卒業生をつなぐ絆づくりを行う最良の機会であり、同窓会活動の意義あらしむるところであると考えます。この70周年のイベントが、同窓諸賢のご理解とご協力で盛大に開催できますことを切にお願い申し上げます。

母校北陽が更に80年、90年、百年に向って発展を遂げて行くことを心より祈って止みません。

母校の現況

校長 林 敏夫



同窓の皆様には、お褒めなくご健勝でご活躍のことと存じます。昨年は、硬式野球部が春、夏甲子園、サッカー部が冬の選手権大会に出場の際は、物心両面にわたって多大のご協力、ご声援を賜わり、まことに有難うございました。心から厚く御礼申し上げます。

北陽も今年で創立70周年を迎えます。今大阪で私立学校が94校ありますが、70年以上の歴史をもつ古い学校は、そのうち32校、約三分の一です。私は、この長い歴史と伝統をふり取りながら、創始者糸島先生の教育の理念「知・徳・体の調和」という全人教育に深く思いを寄せ、学園を挙げて校風の振興につとめねばならぬと存じております。

現在高校入学人口は減少の一途をたどりつつあり、今年3月大阪の私学でも三分の一以上の学校が募集定員を割りました。それに反して、本校は幸いにも受験者は3,251名、入学者は予想を上回って予定より2クラスも多く、減少傾向の中にあって、未だに40クラス、1,728名という大世帯です。

学習面では、コース制をしいて4年目、次第に習熟度別の授業や学習意欲の増進が有効に働いて実績があがって来ました。大学への進学率も3割を越え、専修学校へ2割強、就職2割強、浪人等2割5分の進路状況です。

生活指導面でも、人格の陶冶に力を入れています。制服については、今年の新入生からダブルのブレザー着用といたしました。

クラブ活動は相変わらず盛んです。今年度はサッカーが総体出場を決め、また近畿大会に優勝して、8月末全日本ジュニア大会に出場します。水泳部が大阪大会で2位、うち7名が総体出場候補になりました。テニスも2位に止まり、後一つ清風の壁が破れませんが、健闘しています。ハンドボールやバスケットも近畿大会出場権を得、野球部も連覇をめざして練習に精出している現状です。

以上、全般にわたって母校が活力をもって努力している様子を報告させていただきましたが、今後とも変わらないご指導、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

大阪営業所

電話(06)255-2555

〒545-0051 大阪市東淀川区西中島2-1-1

“母校創立70周年”記念事業に挙って積極参加を!!

記念事業実行委員会

委員長 栗田 文吉 (昭和23年卒)

今年母校北陽高校は、創立70周年と言う記念すべき年を迎えました。

母校の70年の歴史を顧みますと、国家社会の激動期にも、あらゆる困難に耐えて「知・徳・体の調和」の建学精神を貫き、今日迄に2万6千名の有為な人材を世に送り出されてまいりました。そしてこれらの同窓が、社会の広い分野で大へん活躍されていることも、よく知られているところであります。然しながらその半面で、母校に対する帰属意識が必ずしも高くない点も見受けられます。

従って、この70周年に当り、同窓会が各種の記念事業を行う最大の目的は、同窓生が相互の連携を一層密にして頂き、併せて、母校に対する帰属意識を高められる一助にさせて頂ければと存じ、同窓会としては初めての全卒業生を対象に右記の記念事業を行うことになったのであります。

- 1、母校創立70周年を祝う会の開催
- 2、会報「北陽同窓」特集号の発刊
- 3、同窓会名簿「1995年度版」の発刊
- 4、北陽70年史の発刊 (学校法人・福武学園)

これらの記念事業につきましては、すでに準備委員会が中心となって、長い歴史と伝統のある母校の70周年の記念事業に相応しい内容の充実をめざし努力を致しております。特に11月18日開催の「母校創立70周年を祝う会」は、記念事業の「メインイベント」でありますので、式典内容もご期待頂けるものを準備致しておりますので、どうか、同窓の皆様、一人でも多く母校に集い、恩師や先輩、級友、後輩達と楽しく語り合い、母校70年の歩みを確め見とどけ、その発展を喜び合い一層の親睦と明日への活力を培う意義深い機会として頂きたいと存じております。

「祝う会」の概要や式典次第は次の通りであります。

(多少変更する場合あります)

創立70周年を祝う会

- 1、平成7年11月18日(土) 14時～
- 2、母校体育館、他、
- 3、次第

第1部 式典

- 開会宣言 記念事業実行委員長
- 校歌斉唱
- 挨拶 同窓会々長
- 祝詞
- 母校70年の歩み (ビデオで紹介)
- 表彰 (同窓会並びに学校関係の功労者)
- 閉会の辞

第2部 講演会

- 岡田彰布・嘉勢敏弘選手 (同窓生・オリックス)
- 月亭八方師匠 (長男が在学中)

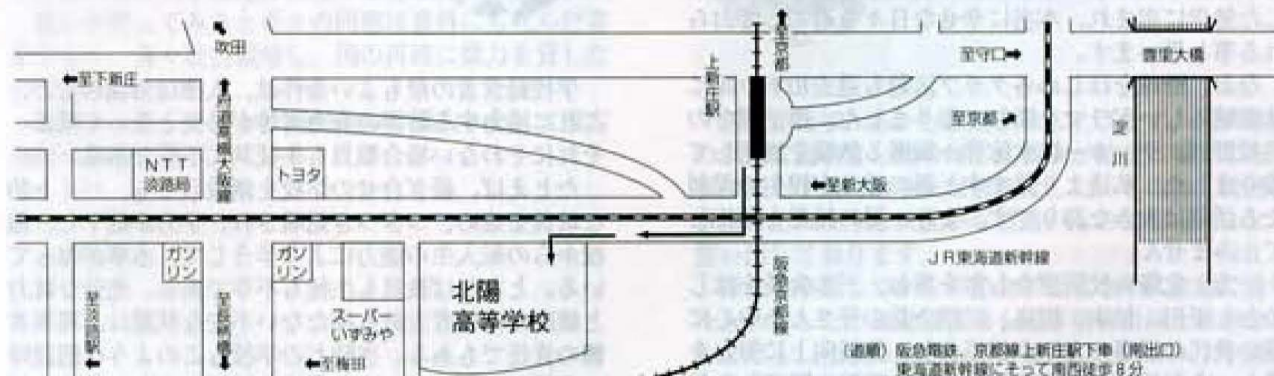
※演題は現在未定

第3部 親睦会 立食パーティ

- 開会のことば
- 乾杯
- アトラクション (イ) 福引 (ロ) その他等々、盛沢山の催しものを準備致しております。

最終決定は案内状にて詳細お知らせ致します。

最後に、先に「募金趣意書」でお願い致しておりますが、70周年記念事業を成功させるには、同窓の皆様方のご理解と暖いご支援ご援助を頂戴しなければ到底成功さすことは出来ません。今、一度、同窓の皆様方に呼び掛けて頂き揃って募金と祝う会へのご参加を心からお願い申し上げます。



母校70周年 随想



70周年に思う

理事

松村 豊 (昭和4年卒)

去る60周年を迎えた時にも寄稿させて頂いた事を思い出しながら10年の年月を振り返って見ますと、身近に種々な事が去来して参ります。

私は昭和4年第1回卒業ですが卒業後各人連絡悪く、加えて不幸な戦争などの関係も有って卒業後54年振りに、昭和58年6月に第1回同窓会を有馬グランドホテルにて、林校長先生、それに当時人気が高かった英語の八沢先生（既に1990年12月に故人となられました）のお二人のご臨席を頂き賑々しく？発会したのが、もう12年前の事になります。その時判明致しました友人は21名でした。同窓会の会名を故人となりました西田秀吉君の提案で北陽商一会と命名しました。以来、これを契機として毎年の様に回を重ねて参り、昨年（1994年）12月に第16回を終った処です。この時の出席者は前田忠男・中井勲・岩永清治・松村豊の四名で、欠席は千原勇・高山強・杉中幸男の三名の方でした。従って現在の会員は僅か7名と誠に寂しい限りです。

思へば過去12年経った現在では14名の友が天寿を全うし、故人となられました、改めて各人の面影を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。会員は少なくなりましたが70周年記念式典には元気で迎えたいものと願って止みません。

さて母校に思いを致しますと、昭和4年卒業当時の事を思い起し乍ら、現在の母校の堂々たる校舎を見る時、想像も及ばない事で現在の在校生の皆さんは充実した勉学に恵まれ、本当に幸せな日々を過ごしておられる事と思います。

なお、野球をはじめ各クラブ活動も過去10年の間には素晴らしいドラマを演じて参りました。甲子園での高校野球、サッカーに水泳等々胸躍る熱戦を展開して参りました、私達より見ますと孫の様な在校生の活劇たる活躍は大きな誇りです、より一層の精進を期待して止みません。

一方、北陽高校同窓会も年を重ね、三木会長をはじめとし栗田、杉本、福島、三副会長の皆さんを中心に若い世代の理事の方々が相協力し、発展向上に努力を重ね、今年母校創立70周年記念式典開催の運びとなり

ました事は、ご同慶の至りにて、その達成に全力を傾けられる様祈念致します。

70周年記念式典を迎えるに当たり、過去10年の間に経験した悲しい事、楽しかった事、或は感動した事等ドラマの展開を振り返り、新たなる80周年に向って母校共々同窓会の更なる躍進を願って止みません。

終り我等北陽商一会の7名の会員の方々も、お互い健康に留意し全員元気な笑顔で語りあえる日の来る事を心より期待し、この稿を終ります。

一番の思い出

藤田 忠男 (昭和4年卒)

就職難の折柄、阪急電鉄へ入社出来たこと、同窓の大橋君、山村君も阪急百貨店へ入社出来たのが一番うれしかった。

大太平洋戦争のとき、東海道線の天竜川鉄橋警備の際、アメリカ軍の艦載機より爆撃に会い、多数の戦友が戦死した、これはどうしても忘れることは出来ない。

母校創立70周年が戦後50年目に当たると言うのも何か歴史の節目を感じられてならない。



随想

参与

杉本 二一 (昭和6年卒)

学校経営者の最もよい条件は、人徳は勿論のこと、これに協力する財界の有力者等が必要となって来る。それにそわない場合職員も生徒共に不幸である。

たとえば、接ぎ合せの学校を創設しても、バイト的な教員を集め、つぎつぎ退職され、学力が低下し、他校からの転入生の能力により辛うじて、水準が保っている。となれば教員も生徒も不幸である。充分な財力と確固たる教育方針も持たない不安な状態は、理事者側の責任でもある。当時どの学校もこのような創設時の状態ではなかったかと思惟する。然し今や全校の願

望が協力と努力の甲斐あって日本中にその名を轟かせ、70年の輝かしい歴史を持つようになったことは、誠におめでたい限りである。

ポール・ヴァレリーは、人間の社会というものは、大部分が凡人が集まって、平凡な常識人たちが集まってつくるものだけど、その社会の価値の創造というのは、少数の凡人ではない、片寄ったエキセントリックな人間たちが作ってきたものだ、というようなことを言っている。

教育者の中にあるものは、理想を追うばかりで、内面的な人間に対する追及というものが全く忘れられている現代、教育の分野なんかで、「創造性」という場合に、どうも計算能力、知識、記憶能力とかを創造性といっているような気がする。次元をもっと深いものだという考え方に、あまり立っていないような気がする。

道ははるかにせよ、社会もしだいに学歴主義をすて、職業についての貴賤の評価を改め、能力と人物本位のあり方への歩を進めている現代が喜ばしい、私たちも社会を形成し、これに影響を与える個人としてますますこの方向への社会を推進してゆかなければならないと思う。



懐古知新

前会長

藤井文太郎（昭和14年卒）

私が卒業したのは昭和14年の春だった。戦前の自由な時代の最中だったと思う。若い男女の間には恋があり、遊びがあり、向学心に燃える青春があった。

天下国家を論ずる大言壮語型が流行した。かと思うと女の尻を追いかけて回る軟派型も多かったようだ。ダンスホールも流行していた、等々戦前の自由な若者の時代であったが、それも長続きはしなかった。間もなく昭和16年大太平洋戦争が勃発したのである。

吾々の青春は吹っ飛び問答無用で戦争に駆り出されたのである。陸に海に空に皆んな召されて行った。極く一部の者が大学に進んだだけである。

戦いが終わってみると吾々の同窓会は意外にも死んだ者が少なく、各々社会復帰し、国の再建に微力を貸したのである。

戦後50年……吾々は高齢者の仲間入りをして懐古知新の毎日を過ごしている。



東京支部の今昔

東宝特テレビ部プロデューサー

宇野 博之（昭和16年卒）

母校北陽高校創立70周年おめでとうございます。私は昭和16年3月卒業で早54年、まだ現役で仕事は続けておりますが正直身体に少々がたがきたようです。残りの人生を有意義に過ごせたらいいなと思う今日この頃です。

11月18日の「同窓会の集い」盛会でありますよう皆様にお目にかかれる日をいまから楽しみにしております。

北陽同窓会東京支部のこと皆様ご存じでしょうか。故稲野治兵衛会長の呼びかけで（昭和50年春第1回）始まり小宮先輩のご尽力によって毎年開催され今年は7月9日熱海で1泊、10名が参加しましたが新制高校出身者は1名でした。毎年2、3名の方が見えるのですが、今年は日曜、月曜と平日にかかった為と思われるかもしれませんが若い皆様方の参加が待たれます。昭和63年度版の同窓会名簿によると約120数名の方が関東地方に在住、それから7年、現在は150名以上の方が住まわれていると考えられます、是非ご連絡を！お待ちしております。

一六会（昭和16年、13回卒業）今年のクラス会は10月7日に東京でひらくのです。私たちの時代は卒業旅行も時節柄なく54年ぶりの卒業旅行です。人間、年をとると昔が懐かしく思え旧友に逢うと一瞬にして学生時代に帰って本当に楽しいひとときを過ごすことができます。いいものです。



創立70周年によせて

参与

柳楽 喜祐（昭和17年卒）

創立70周年、心からお慶び申し上げます。私が母校の学舎に通いましたのは丁度戦争が始まる頃でした。私に限らず当時の学生は勉強はしたいものの、周囲の事情はそのような状況から程遠いものであったことを思い出しております。

母校を卒業してからの50余年は私なりに変動に満ちたものでした。最近では古稀も過ぎ晴耕雨読とは申せないまでも、仕事のかたわら、健康のためゴルフや趣味の野球観戦等に精を出しております。

また十数年前からふとしたきっかけで歴史や史跡探訪に興味を持つようになりました。古代の遺跡や古都の神社仏閣などを時々訪ねてみます。それらはじっと眺めているだけで私達に何かを語りかけてくれるように思えてなりません。ヨーロッパの古い教会の中に佇んでもそうですが、そこには信者でない者にも何か畏怖さを感じさせる雰囲気漂っています。つい最近も一日だけですが近郊の寺に参籠しました。夜半それとはなく外を見ますと深夜ながら参拝している人が何人もいます。私はこのエネルギーはどこから生じてくるのかと考えてみました。そして、多分これが「歴史」というものではないかと思うにいたりました。学問にしろ、芸術にしろおよそ人の心を打つものは永い歴史にはぐくまれてこそ現在の姿があるものと思えてなりません。母校のますますの発展をお祈り申し上げます。



50年前の追憶

参与

真壁 和義 (昭和18年卒)

私たちの世代は国策とはいいいながら、自由を束縛され、若人としての喜びや潤いが、誠に乏しかった時代のように思う。しかし、その中からささやかながらも自分の青春を見出そうと必至になってもがいていた。

昭和20年初夏、私は旧国鉄の弘前駅前に立っていた。西鹿兒島駅を出発し、大阪駅にて青森行に乗り換え、丸2日間を要してやっとの思いで到着した。九州南端から本州北端まで、列車に揺られながら旅行を楽しむというよりも、死の旅路の始まりのような錯覚を肌で感じていた。

この駅前には入隊のため、召集された若人たちが大勢たむろしていた。その人込みの中から、私を呼ぶ声が微かに聞こえた。この青森県には親戚や知人は一人もいない。空耳かと疑いつつ、ふと見るとそこには同級生であった吉田泰祐君の笑顔が揺れていた。約2年半振りの再会である。多くの友人の中から彼のみに出会うとは、誠に不思議な縁である。これを運命の巡り合わせと言うのだろうか。

私たちの入学時(昭和14年春)は、太平洋戦争突入の約2年前頃であった。教室は創立時の木造校舎で正面入口の左側にあり、担任は秋山寿夫先生(B組)であった。現在は仁科先生といわれ、倉敷市内にてご健在である。

さて、入学時の吉田泰祐君はやや肥満体でありながら、敏しょうで健康そのもの、そして性格は明るく食欲もおう盛な少年で、同級生の中では最も愛され親しまれた一人であったと思う。にもかかわらず、だれが名づけたのか本人の意に反し、不愉快なニックネームがつけられていた。偲ぶ初代校長の糸島実太郎先生は

彼の大食を心配し、諭された言葉を今でも鮮明に覚えている。「吉田君、腹も身の内だよ」と。入学した頃は、やや食糧難とはいいいながらも副食類はあり、昼食後も吉田君は間食を好んで食べていた。その彼も今はこの世にいない。そして、30数名の同窓生諸君も故人になっておられる。悲しくもわびしい限りだ。

私たち同窓生ほとんどの友人は、間もなく「古希」を迎える。毎年、開催される同窓会には出席しているが、年々減りつつあるのが誠に切なく残念である。

同窓生諸兄方におかれては、健康には特に留意され、年老いてもお互いに青春時代の思い出を心置きなく語り合える機会の多い事を念願している。

最後になりましたが、母校は今年、創立70周年を迎えられますが、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げますとともに、21世紀に向けて益々、飛躍されますようお祈りし、期待しております。



私とゴルフ

参与

内田 二三男

(昭和23年卒)

先日北陽同窓会から1通の封書が届いた。会報委員会よりで私共夫婦のゴルフハンディキャップ(小生=0 妻=8)が2人合わせてもシングルと言う事は大変珍しいし、又北陽ゴルフ会々長でもあることからゴルフに関する話を投稿願いたいとの依頼であった。少々くすぐったい気もしたが、そこは素直な気持ちで受け止め、私がその昔ゴルフに魅せられて以来、今に至る迄飽きるところかますます昂じてゆく、その一端を書かせて頂くことにしたので、お許し願いたい。

「ゴルフは人生行路の縮図のごとし」ゴルフを長年やったものはみな同じ感慨をおぼえるに違いない、山あり谷あり水あり、これら幾多の障害物を配置した波乱にとむゴルフコースも人生行路に似ていれば、また一個の小球に自分の運命を託して困難と戦い、悪運を堪え忍び、一喜一憂を重ねながら最後のホールに辿りつくプレー自体まさに七転八起の人生さながらの飽くことのないゲームだからである。

近年になって冬場の半分をワイフとアメリカ通いが始まった。カリフォルニア州ラキンタ、バームスプリングスにあるPGA WESTという5コース90ホールをもつゴルフ場でそれぞれのコースが、ビートダイ、ニクラウス、バーマー、ワイスコフ等世界のトップ・プロ達や名設計者のレイアウトで日本国内ではお目にかかれない雄大な景色や素晴らしい環境にぞっこんほれこんで遂にメンバーに入り、そしてコースに隣接した家まで購入するというふれ込みように我れ乍らあき返っている始末。青木功や岡本綾子、その他タレントも日本からよくやって来るので一緒にプレーをする機会もあり、国内では味わえない快適なゴルフを心ゆく迄

楽しんでいる。

今の私にとって残る目標は、エージシューター（自分の年齢以内のスコアで回ること）の達成を夢見ていることである。それがためにはいつ迄も心身共に健康でなければならないと思うが、私の健康についてはゴルフと女房殿が支えてくれるので、きっと実現できるものと思っている。

ふと戦争中の学徒動員のことや、戦後復学して学んだ、オンボロ校舎が懐かしく想い出されるとき、あの北陽時代があり、それが又バネとなって今日の私があるのだと思うと母校への感謝の気持ちが湧き上がってくる。

北陽創立70周年に乾杯！

（追伸）北陽ゴルフ会は年に1～2回開催しておりますのでご連絡下さい。ご案内を差し上げます。

豊中市上野坂2-22-4

ゴルフショップ ウチダ

内田氏戦歴

- ・池田カンツリー倶楽部チャンピオン8回
- ・1974年度関西オープン・セカンドアマ
- ・1990年日本シニア選手権・準優勝
- ・1990～1991年フィリピン大会、ホンコン大会・日本代表、チーム優勝、個人3位。



在学当時の思い出

理事

宮永 康之（昭和30年卒）

私が母校へ入学したのは昭和26年である。2部だったので勤めが終ったその足で学校へ直行した。授業開始は午後5時半頃だったと記憶している。もちろん創立当時の木造校舎で、照明も教室・廊下すべて裸電球だった。

初夏の頃、窓を開けていると涼しくて心地よい風が教室を吹き抜け、現代のコンクリートの建物にはない柔らかな肌になじむ感触を覚えている。

英語、数学、物理等々全領域にわたって勉強した。若かったせいか昼間働いて夜、学校へ来ても別段疲れなどなかった。帰路学友と懐中電灯で足元を照らしながら帰宅したのも今は懐かしい思い出である。

12月のある日、担任の庄田先生に呼ばれ「宮永君、このところ欠席日数が多くなってきて単位がとれない心配もあるので出来る限り出席するように」との注意を受けた。そう言えばここ二、三カ月、出張が多く欠席がちであった。月曜の朝、大阪を車で出発し、姫路赤穂・竜野・上郡というように1日に1箇所その官公庁へ向向き仕事をして、夕方旅館に入り翌日は次の町へ移動するようなスケジュールであった。したがって一度出張に出ると1週間は登校出来なかったのでは

る。新幹線などもちろんなく、道路網もいたって悪く、舗装は姫路までで、それから先は砂煙りを立てて走行する地道であった。政府の招請で来日したアメリカの道路調査団は「文明国にしてこれ程まで道路を無視した国は見たことがない、日本の道路は信じがたいほど悪い」と述べたことはあまりにも有名な話である。旅館の宿泊費1泊2食付650円、地方の町の映画館2本立てで40円だった。

3学期になり、なんとか日程をやりくりして無事卒業証書を授与された。そして40年が経過し、高速道路網もほぼ完備し平成の御代になった。まさに隔世の感がある。



ボクシングで鍛えられた

理事

仲川 義一（昭和34年卒）

ギシー、ギシーと音のする傾きかけた木造校舎、一歩足を踏み入ると汗臭い、あの一種独特なクラブ室、放課後直ぐに汗臭いトレーニングウェアに着替え、もくもくと練習に励んだクラブ活動、九州への修学旅行、クラスの大半者で時々いった放課後のアルバイト、4人で回し書きした交換日記等々、多感な青春の3年間を過ごした北陽高等学校時代、今も、ひとつひとつ鮮明に覚えております、とりわけ根性、闘志を培ってくれたクラブ活動（ボクシング）は、その後の我が人生に大きな糧となっていると思っております。

私も北陽を卒業してから早いもので30有余年を過ぎ50代半ばとなってまいりましたが諸先輩の皆様と種々交わりを持たせていただき「母校あっての自分が在る」という気持ちを強くしている今日この頃であります。

今後は、微力ではありますが母校の更なる発展の為に三木会長を支え同窓の皆様と一緒にがんばってまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いします。



七十而従心所欲不踰矩

監事

牛神 良一（昭和40年卒）

北陽高等学校創立70周年、誠におめでとうございます。

思い起こせば30年前、淡路にあった学舎、当時としては斬新な円形校舎、丸坊主頭の学友、勉強嫌いの我々を辛抱強く個性を発揮して教えて下さった恩師の

方々、懐かしい色々な事が昨日のこのように思い出されます。今では校舎は上新庄、学生服は詰め襟からブレザーに、特進学級が新設され学力向上に力を入れているとの事。体育会系クラブ活動では相変わらず強い野球に加えて、サッカーも全国に北陽の名を響かせている。卒業生としては鼻が高い限りです。進学、規律、クラブ活動を柱に益々のご発展をお祈り申し上げます。

さて、標題は孔子の言葉で、「人生70歳にもなれば、自分の思う通りに行動しても、人の道を踏みはずすようなことはない、要するに安定期に入ったと説いているものですが北陽高校の諸先生方、そして職員の方々のご努力で心身ともに健やかな学生を今後も輩出いただき、母校を愛する同窓生が増えますことを願ってやみません。

母校の名声を高める為に同窓会員が全員一致協力することが大切だと思います。母校創立70周年を期に、同窓会の地域別活動、代議員活動を活性化し、卒業生2万6千人の力を結集しましょう。



母校70周年記念 祝う会 大集合!

理事

多水 善和 (昭和44年卒)

同窓の皆様には、ご健勝でお暮らしのことと存じます。又、阪神大震災で、被災された同窓生、ご家族の方々には、心からお見舞い申し上げます。

日本も戦後50年の節目の年、世の中は、まだまだ円高、不況の波を脱する事が出来ず、景気の回復は足踏み状況である。一瞬にして街を廃墟に変えた阪神大震災、オウム真理教事件など、唯一、明るい話題では、米プロ野球大リーグの第66回オールスター戦で、ナショナルリーグ先発投手に、「竜巻投法」で春三振旋風を巻き起こしているドジャーズの野茂英雄投手が起用され、日本人選手として、初めてオールスター戦に選出された。

このように政治、経済共に混乱をしておりますが、この不況をチャンス到来と見てがんばろうではありませんか。

さて、本学を卒業された皆様へ、母校「北陽高校」のたくましい成長ぶりを、ご覧いただくとともに、今後の同窓会活動により一層のご理解をいただくことを目的に、母校70周年記念、祝う会を11月18日(土)PM2時より、本学体育館にて開催いたします。同窓会が「会員相互の親睦を図り、かつ母校発展に寄与する」よい機会であり、大きく変化した母校の姿をご覧になりながら学生時代のこと等思い出してみたいかがでしょう。

母校70周年記念、祝う会をぜひ成功に収めるためにも物心両面で多大なるご支援を賜っております同窓生の皆様のご協力をあおぎたく、よろしくお願い致します。

す。

なお、当日は運動部、文化部、各クラブ活動の紹介、各種展示コーナー、「知育、徳育、体育」このバランスのとれた、三育を重んじた建学の精神、その長い歴史を紹介する北陽高校70周年の歩みビデオ放映、又母校をこよなく愛する卒業生・プロ野球オリックス、岡田選手・嘉勢選手・落語家/月亭八方師匠(ご子息が在学中)の記念講演や、アトラクションとして、母校プラスバンドの演奏などをごらん頂き、そして楽しい学生時代の思い出や、昔なつかしい恩師、学友、後輩との語らいあえる憩いの場として懇親会(立食パーティ)最後にお楽しみ抽選会など多数の企画を設けております。

ぜひ多くの卒業生の皆様が、母校「ふるさと」にお集りいただくことを同窓会関係者一同、心よりお待ちしております。

母校北陽の思い出

浜畑 久次 (昭和45年卒)

北陽高校、創立70周年おめでとうございます。私が北陽を卒業して早いもので25年になります、この25年の間に学舎も淡路から上新庄に移り、随分雰囲気等も変わったことでしょう。因にこの私も坊主頭のスリムな体から白髪まじりの〇〇kgの体にと見事に変貌致しました。

現在、私は単身赴任で東京で生活していますが、その寂しさと年齢のせいもあるかも知れませんが、時々高校時代のことを思い出することがあります。テレビ等でキャンプファイアーの場面を見ると、決して思い出すがクラブの合宿で若狭高浜の「北陽海の家」へ行った時のことです。ファイアーを囲んで友と語り合ったこと、先輩の命令で青春歌謡を歌わされたこと、食事だけでは足りず、こっそり食料を調達したこと等、懐かしく思い出します。

クラブ活動は当時より盛んで、野球やサッカーは常に上位に顔を並べていました。今でも時折、新聞等で北陽の名を見つけては嬉しくなり、後輩達の活躍に声援を送っています。息子や娘も当時の私と同じ年齢に成長し、時代は違っても、同じ様に充実した楽しい高校生活を送っている様で嬉しく思っている今日この頃です。



不撓不屈の精神

吹田市議会議員

吉田 勝（昭和45年卒）

私が母校を卒業した昭和45年3月は第45回選抜大会で甲子園に初出場準優勝、そして同年4月は大阪万国博が私の現在住んでいる千里丘陵で開催され、日本経済全体が活気溢れた年でした。

北陽柔道部は昭和26年4月、第6代校長故庄田範雄先生によって誕生し、現在監督の林貞俊先生に引き継がれております。私は柔道部に3年間お世話になり、最後の学年は主将の重責をつとめさせていただき、無事責任を果たす事が出来ました。柔道部時代の思い出は昇段試合で講道館の2段に列された時、又、1年生

の時、尊敬していました現在大阪府警にお勤めの中口徳治先輩にクラブを止めようかと感った時、お前は見込みがあるからと励ましていただいた事は忘れる事は出来ません。

又、相撲部の中尾一郎先生（監督）から臨時スカウトされ、大阪府大会で優勝し、大阪代表として近畿大会へ出場、和歌山県新宮市に行った思い出もあります。その間、3ケ年間担任をしていただきました寸田雅広先生、柔道部顧問・倉石文昭先生には大変お世話になりました。感謝しております。

私が柔道部で3年間の間に培われた機敏な判断と困難に屈しない心を養われた事が、2回にわたる選挙戦に勝ち抜けた原動力になったと思います。当時顧問の倉石先生が柔道とは人生の諸先輩に対し礼儀を重んじ、温和寛大であると共に勇猛果敢に自由な精神を強く養うことが柔の道である事を教えていただきました。この生きた教訓を忘れることなく自分の志す道をひたすら邁進いたします。校長先生を初めお世話になりました諸先生方、同窓生諸兄のご健康とご多幸をお祈りしてやみません。

恩師の文芸サロン

朝寝の楽しみ

元・教諭 杉浦 慶之助

1987年に定年退職しました。もう体はがたがたでした。労作性狭心症ということで、何度も入院を勧められましたが、この期に及んでと、とうとう何とか定年まで漕ぎつけました。

その年の11月に母が入院。仕事を持たない身の軽さから、心行くまで看病にこれつとめました。

絶えだえに虫鳴く夜の母看とる

死化粧したる母あり秋しぐれ

もう退職しているというのに、たくさんの北陽の先生たちが告別式にお見え下さいました。あらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。母の死後しばらくは何となく心の中を虚ろな風が吹き抜けていく思いでした。

老いてなほ母を恋ふるや寒昂

水洩をすすりつつ喪のはがき書く

それでも満中陰が過ぎた頃からは、ようやく長かった北陽生活のことも、ことあるごとに思い出すようになりました。

定年の過去美しき冬籠

いままで、何だかんだと強がりを言っていたのですが、とうとう梅田で物凄い発作を起こしそのまま入院しま

した。診断は狭心症どころか、心筋梗塞でした。一ヶ月の入院でした。いまは不思議なくらい体が軽く感じられます。おかげさまで、親戚の帳簿つけを手伝いながら、俳句と読書を楽しんでいます。

多喜二忌や手離し難き伏字の書

何が楽しいといって、朝7時に目が覚めて、ああ、今日も学校へ出なくてもいいんだな、と思う時ほど楽しいものはありません。

孟法然諸ふ朝寝むさばれる

現・教諭 大島 恒明

俳句

花冷や便り遅れる同窓会

生きのびて花見る友もなかりけり

元・教諭 佐藤 誠一

俳句

山門にキリギリス鳴く昼下がり

川柳

校門をくぐる児の背に花吹雪

お隣も受験にはげむ窓明り

ギャルみこし浪速の街に福を呼ぶ

内定が未定に替わる震災地

楽しい同窓の集い

北陽商一会第6回同窓会

理事

松村 豊 (昭和4年第1回卒)

昨年11月に実施予定の秋の同窓会は12月8日の初冬に会場の阿倍野近鉄9階のK. Y. K レストランにて開催しました。会員は現在7名の少人数となりました。今回の出席者は藤田忠男、中井勲、岩永清治、松村豊の四氏でした。半年振りの集合でしたが、皆元気な顔で再会を喜び合った次第です。食事を楽しみ乍らの話は身近な事から始まり平成7年度の代議員大会の事、同年秋に開催予定の母校創立70周年記念大会の事など話しは尽きませんでした。時間の都合もあり次回再会を約し閉会致しました。

今年春の同窓会は阪神大震災の関係で延期させて頂きました。今回体調の関係で欠席の千原勇、杉中幸男、高山強の三氏にはご養生第一に次回お元気で再会出来ます事を念願申し上げ、報告を終わります。

昭和18年卒業生同窓会

参与

真壁 和義

私たちは恒例により、同窓会を平成6年10月8日(土)大阪弥生会館にて開催しました。

毎年のことながら、当日を楽しみにして出席した友人は23名の多数におよび、和気あいの中、時間の経つのも忘れて歓談する姿は何のてら



(後列左より)

山崎勝己、大橋和夫、辻谷 豊、加藤隆明、上田吉一、杉本次男、上野 修、上田作平、釘宮義照、宮崎一、大町 稔、田中義信、奥田正道

(前列左より)

山本義男、真壁和義、前納武司、平野正勝、中野豊治、松原 正、古河史郎、畑中久作、上田康三、中略 浩 (撮影者: 山本義男君)

いもなく、往年の少年時代にもどった様な微笑ましい風景を見て、いつまでも変らぬ友情をひしひしと肌で感じました。

さて、本年は母校創立70周年を迎えられますが、誠におめでとうございます。そして各学年度のOB会および同窓会本部のご発展と同窓生諸兄方のご健福をお祈りします。

女生徒としての思い出

榎本 節子 (昭和42年卒) (旧姓伊吹)

私は徳島県鳴門市立中学を昭和42年3月に卒業し、同年4月来阪して北陽高校定時制に入学しました。旧円型校舎の八重桜が満開に咲き微笑んで迎えてくれた当時の思い出は今でも忘れられません。入学した60名の学友の中には鹿児島県、長崎県、愛媛県等の出身者の方々も居りましたが、卒業時には半分の28名でした。

授業中は空腹、時には眠さとの戦いの中で家族的な楽しい雰囲気の中で4年間を過ごし無事卒業致しました。故三雲元校長先生から卒業証書を授与され、先輩の同窓会会長代理故兵庫県会議員加茂勉様からお祝詞を頂きました。授業をして戴いた、林校長先生、俵先生等の諸先生方には感謝しております。

現在は2人の親で主婦業に専念し、息子は就職し社会人として頑張ってくれています。主人は同じ北陽の同級生で現在国家公務員で郵政省に勤務しております。

女子は毎年同窓会を開催し、男子との合同は数年おきに開催しております。今年も5月21日に十三の天津閣で当時担任の佐藤誠一先生ご夫妻をご招待して長時間、話に花を咲かせました。輝く北陽高等学校同窓生、2万6千有余名の中に、昭和24年第1回高等学校定時制卒業から、昭和47年第24回までの間に、62名の女生徒が卒業し現在社会で皆さんが活躍されておられることをご披露いたし拙い文を終わります。

母校北陽高校の益々のご発展と、諸先生方のご多幸とご健康を祈ってやみません。

北陽のご縁が結ぶ夫婦道

平成7年母校進路状況

大学

	合格者数		
	現役	進入	合計
愛知学院	1		1
朝日	1		1
戸田	1		1
岩手医科		1	1
英和	1		1
道千門	6	2	8
大阪学院	2	5	7
大阪経済	2	4	6
大阪経済法科	6	1	7
大阪芸術	3	2	5
大阪工業	3	5	8
大阪国際	1	1	2
大阪商業	14	6	20
大阪体育	3	3	6
大阪電気通信	4		4
大阪薬学	6	1	7
岡山商科	2		2
岡山理科	1		1
金沢工業	1		1
関西西	2	1	3
関西外国語	1		1
九州公立		1	1
京都学園	13	1	14
京都産業	12	1	13
法政	11	9	20
中子園	9	2	11
中京	2	2	4
神戸学院	12	2	14
国際武道		1	1
西大工科大学国際		1	1
横国	3		3
鈴鹿国際	1		1
駿河台	1		1
摂南	1		1
相模	1		1
第一経済	2		2
第一工業	1		1
大阪造形芸術	3		3
拓殖	1		1
中央		1	1
中京	2		2

	合格者数		
	現役	進入	合計
中京学院	1		1
帝京	1		1
帝京技術科学	1		1
常盤山	2		2
大東	2		2
東洋	4		4
同志社		1	1
東和	1		1
神農文庫	2		2
他	1		1
長崎総合科学	1		1
名古屋商科	1		1
奈良産業	11		11
日本体育		2	2
日本文理	4	1	5
前橋	1		1
花川		1	1
阪南	17	1	18
姫路校	5	1	6
弘教	3		3
福井工業	1	1	2
福山	1		1
北海学園北見	3		3
北海道東海	1		1
名大	1		1
桃山学院	1		1
山梨学院	1		1
立命館	1	1	2
関大	2		2
流通科学	1		1
大阪理	2	1	3
京都経済	1		1
神崎美術	2		2
産業技術	5	1	6
高山	3	1	4
徳島工業	1		1
中日本自動車	1		1
国産	6	1	7
合 計	224	65	289

専門学校

○工業系	44名	大阪法律	3
大阪電子計算機	3	ESS国際外語	3
大阪情報経理	3	大阪ビジネスカレッジ	2
大阪工業技術	3	梅田ビジネス	4
兵庫科学技術	2	中央実務	3
修正建設	3	大阪観光	3
コンピューターHAL	6	他	
大阪ハイテクノロジー	2	○教育社会福祉系	6名
関西自動車整備	3	大阪社会体育	1
他		大阪聖徳社会体育	3
		他	
○家政系	2名		
大阪モード学院	1		
○医療系	8名		
新大阪歯科技工	2		
大阪歯科学院	3		
○衛生系	10名		
大阪あべの辻調理	3		
京都調理師	1		
日本理美容	1		
他			
○文化・教養系	7名		
キャット・ミュージック			
ク・カレッジ	2		
大阪デザイナー	2		
○職業訓練校	1名		
ポリテックカレッジ大阪1			
○商業実務系	27名		

就職

凸版印刷	伊丹産業
ニチイ	横水化学
阪急不動産	加藤産業
近畿日本鉄道	大和実業
ダイハツ工業	大阪中央冷蔵車
キンビバレッジ	淀川製鋼所
新阪急ホテル	旭食品
武富士	中納言
神鋼鋼線	総合警備保障
阪急共栄物産	住友電気工業
プリンスホテル	いかりスーパーマーケット
協進	バスコ大阪
オプトレックス	宮川化成工業
マツヤデンキ	シャープ
リーガロイヤル	モンマルシェ
トヨタカラー新大阪	協進
新王子製紙	関電興業
数島製パン	学校紹介115名
エアポートホテル	
近畿オートタイヤ	
トヨタ車体	
山崎製パン	
三井アーバンホテル	
日本ボディパーフ	
寺岡製作所	
神戸屋	
シャロンインターナショナル	

クラブ活動状況

クラブ名	部員数	平成7年5月16日現在実績
サッカー	151	全国大会27回出場(国体15回・選手権10回・全日本ユース大会2回)優勝2回、準優勝1回、3位1回。
硬式野球	129	甲子園12回出場(夏選手権5回・春センバツ7回)準優勝1回・ベスト4・2回、近畿大会優勝3回・準優勝5回。
バレー	54	1部リーグ優勝12回、近畿大会出場15回、私学大会準優勝。
バスケット	70	近畿大会出場
陸上部	51	駅伝近畿大会7年連続出場・大阪高校総体総合優勝
水 泳	44	1500m、800m、1500m、走幅・ヤリ投近畿大会出場。
柔 道	29	国体・インターハイ(個人メドレー優勝・400mリレー3位)大阪高校総体総合優勝。
卓 球	18	全国大会出場1回、近畿大会出場2回、大阪府下常時ベスト8。
軟式野球	22	近畿大会出場2回。
ハンドボール	21	全国大会出場1回、近畿大会出場3回。
硬式テニス	21	全国高校ハンドボール選抜大会準優勝(H4)近畿大会出場9回・優勝2回・準優勝1回、インターハイ予選大阪大会決勝リーグ戦常時出場。
剣道部	18	府下準優勝(H7)近畿大会連続出場、私学大会優勝、関西ジュニア連続出場、国体選考会出場。
空手部	13	全国大会優勝(S8)、私学大会優勝4回、公私商業大会優勝5回、北摂大会優勝5回。
吹奏楽	32	H6年度より再開。
将 棋	20	日本学校ジャズ教育協会会長賞・ベストスイング賞・ジャズフェスティバル神戸市長賞。
放 送	16	NHK杯団体3位・デイリースポーツ杯個人戦ベスト4。
史跡研究	8	校内放送に活躍中、アマチュア無線技師資格者1名、パソコンに挑戦
鉄道研究部	6	夏季合宿の成果を文化祭で展示、過去に韓国合宿2回。
写真部	5	夏季合宿・自主活動体験学習で仲間作り、全国鉄道の研究。
映画研究部	7	クラブ全国大会・校内行事に活躍。各種写真コンテストに参加。
美術部	14	文化祭で自主映画を発表。
フォークソング部	14	私学美術展(大阪市立美術館)に参加。
新聞部	2	文化祭でコンサート活動。
		ワープロを活用して手作り「北陽かわらばん」発行に活躍。

校歌

*印の箇所を繰返し

一、漲る水の大淀川の

光も清く曳くところ

*浪速若子と名を負いて

契りを結ぶわれらが北陽

二、廃墟に繁る雑草に

古き歴史は亡ぶとも

*高き匂いに咲く花の

文化の都興さずや

三、焦土に揚る再建の

大電力と起き上り

*築かん国に燃ゆる火の

若き生命捧げずや

四、湊を洗う海潮の

続く世界に目を開き

*流れて止まぬこの水に

世紀の魂を磨かずや

お悔やみ申し上げます

皆川 良起 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良一 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良二 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良三 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良四 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良五 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良六 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良七 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良八 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

皆川 良九 氏（昭和26年卒）
 御逝去の事、心よりお悔やみ申し上げます。
 御冥福をお祈りいたします。

後の別れとなった。11月26日寝屋川市の玉泉院での葬儀には同窓生多数が参列して故人に最後の別れをしました。謹しみご冥福をお祈り致します。

「皆川同窓会会計理事」のご逝去を悼む

理事

岡田 勉（昭和26年卒）

母校創立70周年記念式典の事業準備を熱心に参画されていた皆川さん（25年卒）の訃報が6月5日同窓会事務局より知らされた時は大変な驚きと悲しみで一杯であった。

皆川さんは私の1年先輩であり、戦後北陽の硬式野球部が復活した時一緒にさせて頂き共に練習に明け暮れた仲間であり面倒見のよい先輩であった。

当時、夏の大会予選前に母校で合宿をしたことがあったが戦後の食糧難時代で部員の持ち寄った食物では到底足りず皆川さんの家族のご好意により当時は貴重品であった食糧を補充して頂いた思い出がある。

今回の70周年を迎えるに当って会計理事のほか、同窓会報の委員長として熱心に取り組まれていたのでご本人は真に心残りであったことと推察される。図らずも代役として私が跡を担当することになり、ご本人の意思をそのまま引き継ぎ記念会報を発刊させて頂くことになった。

母校愛に燃え、北陽同窓会の運営に情熱を注がれた皆川良起さんに対し衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

会報15号発行の際ご寄付いただいた同

窓各位には、ご氏名を掲載して謝意を表

しました。改めて厚くお礼申し上げます。

級友・杉本次男君を偲ぶ

平野 正勝（昭和18年卒）

昨年11月25日同窓会の幹事であった真壁君より同窓の杉本君の死去の連絡があった。

彼とは小学校からの同窓で成績優秀で当時の豊中中学校へ進学の手配であったが、家が近所の私が北陽へ行くと聞いて北陽に進路を変えたのであった。入学後、吹田市に転居し卒業迄は親しくしていたが卒業後、彼は九州の方に行って戦後暫く音信不通であったが10年前から大阪に帰って来て又付き合いが始まり、何事も相談しあえる仲であった。

亡くなる1週間前の11月19日の代議員会には元気に出席して活発な意見をのべられたのが最

会報15号に寄付頂いた同窓各氏(敬称略)

秋 繁一	上田 義次	龜田 真守	佐野 正和	田中 喜義	中西 武三	藤川 重義	村田 茂
浅野正	上中 勇雄	空田 浩二	良晴 鉄雄	中中 一嘉	中野 隆司	藤田 勝也	村松 正明
味舌 十七	上上 雅弘	河井 完維	鉄雄 修三	中中 啓三	中野 治浩	藤田 健司	村松 雅樹
味田 行雄	上上 真人	河井 敏男	池田 半一	中中 忠三	中野 正栄	藤田 健司	村松 和男
足立 英二	上野 健一郎	河井 素拓	塩谷 徳仁	中中 正美	中野 中村	藤田 健司	村松 秀久
足立 豊	宇佐美 良一	河井 孝四	塩津 仁司	中中 益行	中野 中吉	藤田 健司	村松 俊一
新井 敏男	牛神 昭	河井 章仁	式田 学司	中中 保則	中野 中礼	藤田 健司	村松 朗善
新井 正之	内田 博之	河井 輝志	重村 希夫	中中 雄三	中野 中礼	藤田 健司	村松 浅一
荒木 道幸	内海 稔	河井 誠司	柴田 憲昭	中中 行雄	中野 中礼	藤田 健司	村松 悦夫
荒木 俊夫	宇野 浩資	河井 照明	芝原 康弘	中中 親彦	中野 中礼	藤田 健司	村松 寿一
有福 李治	梅田 敬之	河井 弘	島村 昌樹	中中 克治	中野 中礼	藤田 健司	村松 保幸
有馬 李治	浦川 武志	河井 慶一	清水 勝夫	中中 元良	中野 中礼	藤田 健司	村松 哲朗
淡谷 文吉	浦野 勇	河井 徹	清水 靖治	中中 信行	中野 中礼	藤田 健司	村松 良彦
栗田 隆司	海野 通芳	河井 進	清水 英治	中中 章一	中野 中礼	藤田 健司	村松 美之
飯川 隆司	江蔵 兼雄	河井 光男	下田 忠雄	中中 隆之	中野 中礼	藤田 健司	村松 健一
家留 俊次	枝松 誠	河井 秋幸	下田 精一	中中 恒昭	中野 中礼	藤田 健司	村松 寛治
池田 一夫	大石 保真	河井 久男	庄田 誠一	中中 利昭	中野 中礼	藤田 健司	村松 恵吉
井崎 凱	大久保 均	河井 公三	白井 信行	中中 久之	中野 中礼	藤田 健司	村松 悟
石井 宏一	大越 晃	河井 哲夫	白藤 芳郎	中中 李治	中野 中礼	藤田 健司	村松 則雄
石井 齊	大園 晃	河井 隆一	神保 須上	中中 太郎	中野 中礼	藤田 健司	村松 巖
石川 隆一	大田 佳和	河井 賢一	末宗 須上	中中 陽一	中野 中礼	藤田 健司	村松 垂起
石田 修	大谷 英文	河井 亨	須上 丸彦	中中 忠義	中野 中礼	藤田 健司	村松 勝巳
石田 耕一	大槻 豊	河井 徹	杉谷 二一	中中 英一	中野 中礼	藤田 健司	村松 定男
石田 智則	大西 健三	河井 常幸	杉本 貴雄	中中 豊	中野 中礼	藤田 健司	村松 忠平
石田 道治	大松 良行	河井 健治	杉本 次男	中中 勝	中野 中礼	藤田 健司	村松 博義
石橋 等	大村 智和	河井 和男	鈴江 敏男	中中 義雄	中野 中礼	藤田 健司	村松 秀夫
泉田 嘉則	大森 晋也	河井 哲也	鈴鹿 禎昭	中中 一夫	中野 中礼	藤田 健司	村松 弘
伊関 昌一	岡田 耕一	河井 勉	鈴木 保	中中 陽一	中野 中礼	藤田 健司	村松 康雄
五十川 義三	岡田 正也	河井 昌也	鈴木 正司	中中 秀克	中野 中礼	藤田 健司	村松 佳弘
井筒 幸男	岡田 弘	河井 瑞	鈴木 善治	中中 賢作	中野 中礼	藤田 健司	村松 豊彦
出川 弘至	小川 裕	河井 太郎	鈴木 隆司	中中 克美	中野 中礼	藤田 健司	村松 勝仁
糸井 謙三	奥野 誠治	河井 昇三	外川 武彦	中中 達也	中野 中礼	藤田 健司	村松 敏雄
伊藤 善夫	尾田 正広	河井 恒雄	楚和 平	中中 義彦	中野 中礼	藤田 健司	村松 雅也
井道 文雄	落合 政太郎	河井 和彦	高井 誠一	中中 裕之	中野 中礼	藤田 健司	村松 利一
稲垣 益生	小畑 一義	河井 義夫	高木 文雄	中中 昌也	中野 中礼	藤田 健司	村松 忠之
稲塚 勝男	香川 龍一	河井 義夫	高木 文雄	中中 幸治	中野 中礼	藤田 健司	村松 大輔
稲嶺 盛幸	柿木 義夫	河井 明	高田 正明	中中 龍造	中野 中礼	藤田 健司	村松 悟
井上 三二	藤原 宗雄	河井 謙三	高田 隆弥	中中 高志	中野 中礼	藤田 健司	村松 茂
井上 弘昭	片山 英一郎	河井 伸義	高橋 匡房	中中 徳男	中野 中礼	藤田 健司	村松 弘二
井上 守正	片山 誠	河井 茂	高橋 裕哉	中中 章	中野 中礼	藤田 健司	村松 勇健
今津 哲太郎	勝原 隆政	河井 忠男	高山 弘志	中中 尚	中野 中礼	藤田 健司	村松 武
今仲 恒男	加藤 正友	河井 健四郎	田口 昭夫	中中 敏雄	中野 中礼	藤田 健司	村松 典生
今村 稔	門元 信達	河井 敏弘	武田 利雄	中中 晴郎	中野 中礼	藤田 健司	村松 義治
今村 良章	金井 太仙	河井 博	武田 元一	中中 好司	中野 中礼	藤田 健司	村松 重一
今村 吉治	金田 恭典	河井 雅巳	竹田 志雄	中中 茂夫	中野 中礼	藤田 健司	村松 寿夫
入江 克典	金田 良幸	河井 清	竹若 瑛夫	中中 幸雄	中野 中礼	藤田 健司	村松 文蔵
入江 悦治	上浦 正生	河井 治男	田島 千平	中中 保夫	中野 中礼	藤田 健司	村松 寛
岩崎 清治	神野 興三	河井 真	佐藤 五平	中中 經弘	中野 中礼	藤田 健司	村松 裕大
岩永 隆志							村松 牧雄
岩本 博義							
岩本 貞夫							
印藤 佳次							
植坂 広三							
上田 康一							
上田 吉一							

北陽同窓会役員名簿

A 类				B 类			
序号	姓名	性别	年龄	序号	姓名	性别	年龄
1	张三	男	25	11	李四	男	30
2	王五	女	28	12	赵六	男	32
3	陈七	男	35	13	孙八	女	35
4	周九	男	40	14	吴十	男	45
5	郑十	女	48	15	徐十一	男	50
6	冯十一	男	55	16	黄十二	女	58
7	马十二	男	60	17	宋十三	男	65
8	朱十三	女	68	18	张十四	男	70
9	李十四	男	72	19	王十五	女	75
10	王十五	男	78	20	李十六	男	80
11	张十六	女	82	21	王十七	男	85
12	李十七	男	88	22	李十八	女	90
13	王十八	男	92	23	王十九	男	95
14	李十九	女	98	24	王二十	男	100

編集後記

母校創立70周年記念特集号を出すことに情熱を燃やしておられた会報委員長（皆川良起理事25年卒）が平成7年6月5日にご逝去されました。図らずも代役として私が跡を担当することになり、記念特集号の編集に力を注いでまいりました。今回は多くの方々に各種情報連絡等をご案内いたしたくページ少し増しました。

発刊に際しご尽力を賜りました同窓各位に対して心より敬意を表すともに前任者同様にご理解あるご協力、ご支援をお願い致します。

会報委員長 岡田 勉（昭和26年卒）

和菓子製造販売

松竹堂

吹田市山田東2丁目37-14 TEL 06-877-1125

大阪市・吹田市・摂津市・指定業者

●各学校美術科設備品及び教材●デザイン材料・額縁●和・洋絵画材料

有限
会社

渡辺画材教育用品社

事務所 吹田市吹東町32-1 〒564

TEL 06-383-1404

FAX 06-383-1418

支店 大阪成蹊女子短大美術ショップ

TEL 06-340-1479

駐車場完備

お車でどうぞ。

卒業生各位には御相談に応じます。

株式会社 伊藤家具

豊中市名神口1丁目14-32

☎(06)864-3655・3656

●阪急三国駅下車・ワコールセンシティー3号館前

大阪市淀川区西宮原1丁目7-44

☎(06)394-1351

(工事製作部門)

総合電気工事・設計・施工
自動制御盤・製作

(代理店・販売部門)

🔋 ヤンマーディーゼル 基幹特約店
🔌 愛知電機 アイチトランス特約店



心と技術で明日を築く

栄興電気工業株式会社

本社/〒661尼崎市瓦宮1丁目9-15 支店・工場/〒566摂津市一津屋3丁目3-14 営業所/西宮・宝塚

電話 (06)491-5301(代)

電話 (06)349-2831(代)

FAX (06)493-1051

FAX (06)349-0765

新登場

夢妻物語・家族物語

あんしん倶楽部

木村ふき子

朝日生命庄内営業部 TEL 06-334-9281~3 FAX 06-334-9282

「創造」の
キーワードを
みつめて。テレビ番組
テレビCM
PR映画
ビデオソフト
企画／制作

株式会社 放送映画製作所

〒530
大阪市北区曽根崎新地1丁目3番23号
成晃ビル TEL (06)344-7531(代)
FAX (06)344-7616・345-5585

学校指定 教科書販売店

有限会社 藤川隆文堂へ

参考書の
ご用命は ぜひ

TEL(06)322-5759(代表)

東淀川区東淡路商店街(阪急淡路駅東出口北入ル) FAX(06)322-5770

北陽高校指定 学生衣料総合メーカー

高田商事株式会社

本社／〒541 大阪市中央区北久宝寺町3丁目4-14 高田ビル 電話(06)251-3381(代)・1896 ファックス(06)243-0605

- 35mm 16mm 出張映写!
- フィルムレンタル
邦画、洋画、独立プロ、等35mm版・16mm版在庫豊富!!
- クセノンピンスポットライト、
スクリーン、暗幕装置、
スライド映写機等のレンタル

ご一報次第係員がお伺いします。

淡路東宝

〒533 大阪市東淀川区淡路4丁目7-7
TEL (06)322-2602
FAX (06)325-6811

明日を見つめ ベストを追求する

一橋出版株式会社

〒167 東京都杉並区南荻窪4-30-6
TEL: 03-3392-6021(代) FAX: 03-3332-7299

千歳興産株式会社

社長 吉谷 巖

〒530 大阪市北区西天満3丁目5番14号 TEL 06-362-6228

商品撮影・ポートレート・建築写真・各種発表会・記念行事の撮影

株式会社 ^{サイカイ} 佐海フォトプロダクション

本社・スタジオ 阿倍野区阪南5-10-5(地下鉄・御堂筋線西田辺駅北50m)
☎ 大阪 (06)621-0085(代) FAX 621-0626

コンピューター画像処理による ●古い傷んだ写真の修整・復元●写真の合成●電線等の不要物の消去

本校指定通学服・体育衣料は当店で

よい品をご奉仕する皆様のお店です。2階学生服売場係員までお電話下さい。 TEL 06-322-2752

株式会社アカシヤ

住所 東淀川区東淡路4丁目17-13 阪急淡路駅下車東出口スグです
当校事務所まで注文品お届け致します。

リコーOA機器専門店・総合コピーコーナー

東洋オフィスマシン株式会社

ABCコピーセンター

代表取締役社長 **中山 美知恵**

本店〒532大阪市淀川区西中島3丁目8番14号犬飼ビル1F・3F TEL大阪(06)304-8491(代) FAX大阪(06)302-9595
エサカ店〒564吹田市江坂町1丁目20番30号 TEL大阪(06)385-9632(代) FAX大阪(06)385-9633

複写機・ファクシミリ・ワープロ・オフコン・PPC焼付・青写真・カラーコピー

国内旅行

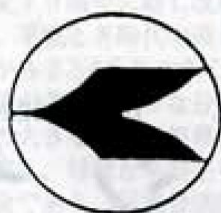
ラッキーツアー

海外旅行

シブシブ

心の通った修学旅行

株式会社



京阪交通社

教育旅行大阪営業所

大阪府中央区北浜2丁目6番26号 ☎(06)228-1691